



## 積み上げ型から理想追求型コストダウンへ 『コスト改善力で生き残れ!』(部門別コース)

日時/2016年7月20日(水)10:00~17:00  
会場/ 東京・渋谷近辺の会議室  
受講料/ 日本IE協会会員 38,880円  
一般 51,840円  
日本生産性本部 賛助会員 45,360円  
(消費税・テキスト代を含みます)



講師  
(株)MEマネジメントサービス  
マネジメントコンサルタント・公認会計士  
橋本 賢一 氏

基礎知識を十分に持っており、各部門別に特化したコストダウンノウハウを学びたい方向けのコースです。  
基礎から学びたい方は『コスト改善力で生き残れ!』(総合コース)7/19(水)から開催をご受講ください。

### どれくらいコストダウンできるかが事前にわかる

貴社のコストダウン活動は会社の利益に繋がっていますか? 繋がらないとすれば以下のよう  
な、心当たりはありませんか?

- ・ 不良・稼働ロスなどの 見える所だけしか改善対象に取り上げていない。
- ・ 業務上の役割や課題が曖昧なままに 思いつきの改善に終始している。
- ・ 改善成果の予測がないままに 積み上げ型の改善をしている。
- ・ 改善対象を効果の大きい順ではなく 赤字製品から選択している。
- ・ 量(加工)より 質(段取のようなやりやすい)工程・作業を改善対象を取り上げている。
- ・ コストダウンより 設備改善・自動化することが目的になっている。

**戦略的な原価革新とは、コストダウンの役割と課題を対象に、理想原価追求型のコストダウンを展開することです。「誰が、何をすれば、どれくらいコストが下がるか」が、実施前に明確になれば、ねらい通りのコストダウン成果を実現**できます。原価低減から原価革新への転換こそ、グローバルな競争下の経営に求められる効率追求ではないでしょうか。経験豊富な講師が演習を交えて、詳細にわかりやすく解説します。皆さまのご参加をお待ちしております。

### 【プログラム : 7月20日(水) 10:00~17:00 部門別コストダウン編】

#### 3. 『設計・生産技術段階のコストダウン』

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| 3-1. 技術段階のコストマネジメント  | 3-2. 設計・生産技術で決まる材料費 |
| 3-3. 加工・組立容易性を考慮した設計 | 3-4. 過大設備投資にならないために |
| 3-5. 基本機能だけでできる製造方式  |                     |

【演習】 自動検査機を改善・設計してみる

#### 4. 『製造・管理段階のコストダウン』

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 4-1. 製造段階のコストマネジメント | 4-2. 理想標準材料費を追求する  |
| 4-3. 理想標準労務費を追求する   | 4-4. 設備能力と最適機械スピード |
| 4-5. 生産の4要素を管理する    |                    |

【演習】 歩留・工数・設備効率管理

総合コストダウンコースのご案内です。7/19(火)から2日間の受講で体系的にコストダウンを学べます。

### 【プログラム : 7月19日(火) 10:00~17:00 総合コストダウン編】

#### 1. 『原価革新を実現するコストマネジメント』

- |                       |                        |
|-----------------------|------------------------|
| 1-1. 改善には2つのアプローチがある  | 1-2. 分析型のリサーチアプローチ     |
| 1-3. 設計型のデザインアプローチ    | 1-4. アウトの規定からインプットを攻める |
| 1-5. コストは生産要素の最適組み合わせ |                        |

【演習】 切削時間を短縮してみる

#### 2. 『コストを見えるようにして狙いどころを絞る』

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 2-1. どのようなロスが見えるか   | 2-2. プロセス別のコスト分析    |
| 2-3. 見えないロスの顕在化     | 2-4. 量的判断から質的判断へ    |
| 2-5. 事前にコストダウン余地を知る | 2-6. 改善と管理によるコストダウン |

【演習】 茄子ラインの改善

**講師紹介**

(株)MEマネジメントサービス

マネジメントコンサルタント・公認会計士 橋本 賢一 氏



公認会計士事務所を経て、日本能率協会コンサルティングに入り、原価革新や生産性向上のコンサルタントとして活躍。1985年(株)MEマネジメントサービスを設立し、製造業を中心に、総合的コストダウンを展開し、企業の業績を革新するコンサルティング活動を中心に行う。日本国内のみならず、中国・タイ・韓国などの海外でもコンサルティング活動を中心に活躍中。

著書は『見える化でわかる限界利益と付加価値』、『間接・サービス部門の原価管理』、『見える化でわかる売り値と買い値』、『よくわかる「ムダとり」の本』共に日刊工業新聞社。『正しい意思決定のための経済性工学の本』、『よくわかる原価のしくみ』共に日本能率協会マネジメントセンターなど多数。

参加申込は

**FAX (03)-3400-8694**  
ホームページ <http://www.j-ie.com/>

下記ご記入のうえ  
このまま FAX にて  
お申込みください。

参加者および派遣責任者が上記の「個人情報の取り扱いについて」に同意した上で申し込みます。

『コスト改善力で生き残れ！』(部門別コース)

CG17 7月20日開催

■ 貴社名		■ 所在地(〒 - )	
氏名		所属/役職	
派遣責任者	フリガナ	E-mail :	TEL : FAX :
参加者(1)	フリガナ	E-mail :	TEL : FAX :
参加者(2)	フリガナ	E-mail :	TEL : FAX :
合計【      】名		参加費【                      円】	

■ キャンセル規定に関して ■

申込受け後、おおよそ開催日の10日前になりましたら、参加証(集合案内)、請求書を郵送いたします。正式受付後、参加予定者のご都合が悪く出席できない場合には、代理の方にご出席をお願いします。代理の方のご出席も不可能な場合は、下記の規定により、キャンセル料を申し受けます。

【(注) ※キャンセルは、必ず E-mail、または、FAX にて、日本 IE 協会までご連絡下さい。】

- ・開催日の7日前～前々日(開催日初日を含まず起算) : 参加費の50%
- ・開催日の前日および当日 : 参加費の全額(料金のご返金はできません)

お申込・お問合せ

**日本インダストリアル・エンジニアリング協会**  
THE JAPAN INSTITUTE OF INDUSTRIAL ENGINEERING  
〒150-8307 東京都渋谷区渋谷3-1-1  
TEL.03-3400-8715 FAX.03-3400-8694  
E-mail: [jiie@j-ie.com](mailto:jiie@j-ie.com) Website: <http://www.j-ie.com/>

■ 個人情報の取扱いについて ■

1. 参加申込によりご提供いただいた個人情報は、(公財)日本生産性本部の個人情報保護方針に基づき、安全に管理し、保護の徹底に努めます。なお、(公財)日本生産性本部個人情報保護方針の内容については、(公財)日本生産性本部ホームページ (<http://www.jpc-net.jp/others/kojin.joho.html>) をご参照願います。

参加されるご本人、ご連絡担当者の皆様におかれましては、内容をご確認、ご理解の上、お申込いただきますようお願いいたします。

2. 個人情報は、『日本 IE 協会』の事業実施に関わる資料等の作成、ならびに日本 IE 協会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内、および顧客分析・市場調査のために利用させていただきます。
3. 法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。
4. 各種ご案内の送付などを外部に委託することがありますが、委託先にはご本人、ご連絡担当者へのサービス提供に必要な個人情報だけを開示し、サービス提供以外に使用させることはありません。
5. ご本人からの求めにより、開示対象個人情報の利用目的の通知、開示、訂正、追加又は削除、利用の停止、消去及び第三者への提供の停止に応じます。この件については、日本 IE 協会(会員担当:連絡先 TEL03-3400-8715)または(公財)日本生産性本部総務部個人情報保護担当窓口(TEL03-3409-1112) までお問合せください。【責任者:個人情報保護管理者(総務部長)】
6. お申込書に個人情報を記入するか否かの判断はご本人次第ですが、必要な個人情報が不足していた場合は日本 IE 協会からのサービスの全部、または一部が受けられないことがあることをご了承願います。
7. 日本 IE 協会は、クッキー等のご本人が容易に認識できない方法によって個人情報を取得することは行っておりません。
8. 本案内記載事項の無断転載をお断りします。